

ワイン市場において注目したい 『準低価格ワイン』

値上がり必至の欧州ワイン

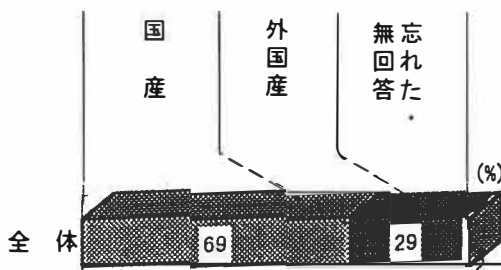
外国産ワインユーザーは日常の食事と一緒に飲むワインを選ぶ時も、国産ワインより高目の価格のものを購入しています。

日常的には、国産ワインをよく飲むユーザーも、目的によってはクラスアップ感覚で外国産ワインを選ぶこともあります。

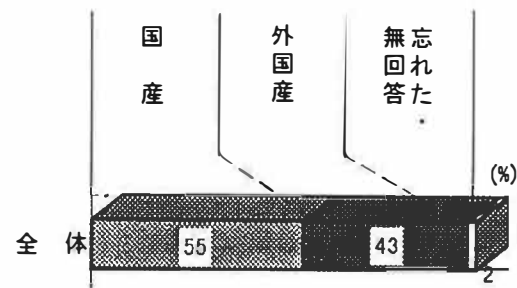
ところが、ヨーロッパでも急激な円安がすすみ、500～1000円程度の外国産ワインの値上がりは必至となり、国産の『準低価格ワイン』の存在価値が高まっています。

■国産ワイン／外国産ワインの飲む比率

普段家庭で飲む比率



ホームパーティで飲む



当社調べ

■日常飲む外国産ワインの内訳

①フランスワイン	(45%)	
②ドイツワイン	(34%)	
③イタリアワイン	(7%)	
④オーストラリアワイン	(4%)	
⑤スペインワイン	(2%)	
⑥カリフォルニアワイン	(1%)	当社調べ

<参考>

輸入量	①フランス	②イタリア	③ドイツ	④米国	⑤チリ	⑥スペイン
	4,886	2,114	1,602	1,058	616	378
	単価 (1,000C/S)					
	1 C/S = 9%					

■外国為替相場 (各国の一通貨当たりの円：)

	フランス フラン	イタリア リラ(100リラ)	ドイツ マルク	米国 ドル
97. 6	19.46	6.74	65.57	110
9	20.46	7.08	68.71	120
12	21.57	7.34	72.24	120
98. 3	21.88	7.25	71.47	119
6	23.23	7.90	77.98	119

日銀調べ